

台風第7号による大雨被害と中国地方を中心とした国土強靱化等の効果

令和5年8月31日16時00分時点
※数字は速報値

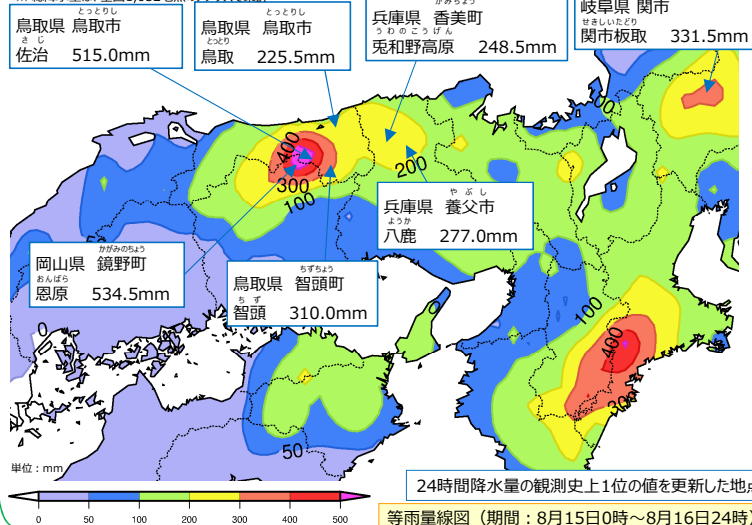
- 台風第7号の経路に近い西日本の地域を中心に大雨となり、岡山県、鳥取県の2県で線状降水帯が発生し、7か箇所の雨量観測所(24時間降水量)で観測史上1位を記録。
- 国管理河川、府県管理河川のあわせて24河川で溢水等による氾濫が発生。この影響で、全国約710棟で浸水被害が生じた。また、各地で97件の土砂災害が発生。
- 122ダムでの洪水調節(事前放流38ダムを含む)や3か年緊急対策等による河道掘削等を実施した結果、大規模な浸水被害を回避。
- 一方、40を超える河川で氾濫危険水位を超過しており、気候変動による降雨量の増大に備えた国土強靱化関連の対策を進める必要。

台風第7号による大雨の状況

【近年発生した大雨等と台風第7号による大雨の比較】

		平成23年9月 紀伊半島大水害	平成30年7月 西日本豪雨	令和5年 台風第7号
アメダス 総降水量	期間 [日数]	8/30~9/5 (7日間)	6/28~7/8 (11日間)	8/15~8/16 (2日間)
	総和	約13.8万mm	約24.6万mm	約3.6万mm
観測史上 1位の更新 数	72時間降水量	49地点	123地点	6地点
	48時間降水量	48地点	125地点	4地点
	24時間降水量	51地点	77地点	7地点
	12時間降水量	34地点	49地点	7地点
	6時間降水量	18地点	31地点	7地点
	3時間降水量	13地点	16地点	6地点
	1時間降水量	11地点	14地点	4地点
氾濫等発生河川数	85河川	315河川	24河川	
土砂災害発生件数	208件、河道閉塞17箇所	2,581件	97件	

※ 総降水量は、全国1,032地点のアメダスで集計



河川整備等の効果

千代川の河川改修(鳥取県鳥取市用瀬町美成 地先)

- 3か年緊急対策等による河道掘削や堰改築等により、令和5年台風第7号の大雨において外水氾濫による**家屋浸水被害を回避**

【主な対策内容】

主な事業	対策内容	対策期間
直轄河川改修事業	河道掘削、堰改築等	H30~R5

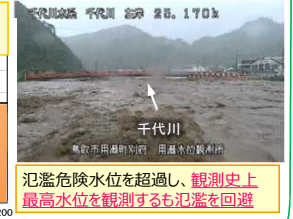
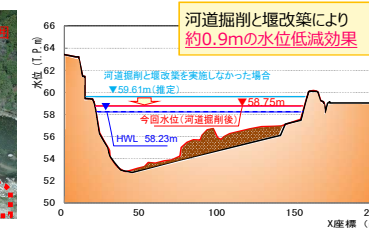
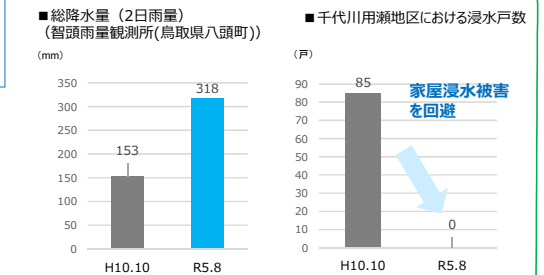
対策前(令和2年3月)



対策後(令和4年4月)

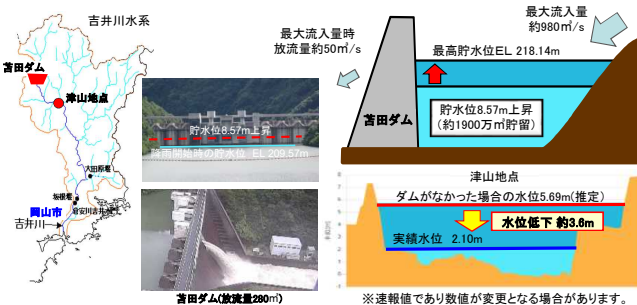


【整備効果】



ダムの洪水調節(事前放流含む)

- **ダムの洪水調節(事前放流含む)により、下流河川の水位上昇を抑え、被害を回避・軽減。**【洪水調節実施ダム122ダム(事前放流38ダム含む)】
- 吉田ダムにおいては**管理開始以降最大**となる最大流入量約980m³/sの洪水が発生。洪水調節により約1,900万m³の洪水を貯留し、**下流津山地点において約3.6mの水位を低減**させたと推定。



土砂災害対策の効果

- 土砂災害発生件数の約9割を占める京都府、兵庫県、鳥取県では、83件の土砂災害が発生したが、3か年緊急対策や5か年加速化対策等により整備が行われた319箇所では被害は確認されていない。
- 木地山砂防堰堤(天神川水系能谷川)、約200m³の流木等を捕捉し、下流域への被害を未然に防止。

3か年緊急対策による砂防堰堤の整備



鳥取県東伯郡三朝町木地山 地先における対策例

